

教職員研修マニュアル

研修の心得

1. 学校創立のコンセプトである、建学の理念の徹底とこれに則した教育を基本とする。
2. 職場は道場である。自らを鍛え、自己の研鑽につとめ、ベストを尽くし生きがいを持ち、己の幸福の増進に資するものでなくてはならない。
3. 物事に対し前向きに明るくとらえ、人々に感動を与えられる積極的な人間の育成をなすものとする。
4. 各々職場におけるオンザジョブトレーニングを基本とし、マネージャーは人材開発及び、育成をその重要な役割とする。
5. 専任、非常勤にかかわらず、全スタッフが能力レベルの向上を目標にお互いが切磋琢磨し、能力適性に応じた計画的継続的な生涯教育を基本とする。

それは、

- 1) 自ら考え、行動する自立的創造的人材開発
- 2) 現状を的確に把握し、それに対し変化する状況を切り開いていける先駆的人材開発
- 3) 職種や組織をこえて、エゴを捨てて仲間としての連帯感と共感を持つことのできる人材開発
- 4) 国際的に通用する見識のある企業人（ビジネスマン）としての人材開発
- 5) 我々は価値感をともにし、ともに泣き、ともに喜べる人材を開発することを目的とする

研修種別体系

	研修内容	主催	参加メンバー
1	教職員研修	理事長	全教職員
2	広報研修	局長・次長	全教職員
3	就職研修	教務主任	全教職員
4	学生指導研修	教務副主任	全教職員
5	卒後教育研修	教務部長	全教職員
6	コンピュータスキルアップ研修	局長・次長	全教職員
7	キャリア教育研修	キャリア教育 研修委員長	全教職員
8	事務局研修	局長・次長	事務局員
9	教務主任研修	教務主任	教務主任・副教務主任
10	担任研修	教務主任	全教員
11	各種業界研修	関連団体	該当者
12	新入職員研修	JESC	新入教職員
13	秘書研修	JESC	新入職員
14	オリエンテーションスピーカー研修	JESC	新入生オリエンテーションで講師を務める者
15	OJT トレーナー研修	JESC	新入職員の直接の上司
16	広報研修	JESC	広報担当者
17	就職研修	JESC	就職担当者
18	カウンセリング研修	JESC	全教員
19	マネジメント研修	JESC	理事長の指名による者
20	教務主任研修	滋慶 West	教務主任
21	担任研修	滋慶 West	理事長の指名によるもの
22	教務事務研修	滋慶 West	理事長の指名によるもの

会議種別体系

	会 議	実施日	進 行	参加者	
1	常務会	1回/月	総長	理事長 (拡大常務会の場合は+局長・次長)	
2	JESC 運営会議	1回/月	JESC 所長	理事長	
3	全体会議	1回/月	局長・次長	教職員全員	
4	教務会議	1回/月	教務主任	専任教員	
5	主任会議	1回/月	教務主任	教務部長 教務主任 教務副主任	
6	事務局会議	1回/月	局長・次長	事務局員	
7	広報会議	適宜	局長・次長	新大阪・東洋広報担当者	
8	就職会議	適宜	教務主任	教務主任 最高学年担任 局長・次長 事務局就職担当	
9	実習担当講師会議	2回/年 4・9月第一日曜	理事長	講師 教職員	
10	業界懇談会	1回/年	理事長	大阪府歯科技工士会理事 教職員	
11	卒業判定会議	1回/年	学校長	学校長 理事長 副学校長 教務部長 教務主任 教務副主任 該当専任 局長・次長	
12	進級判定会議	1回/年	学校長	学校長 理事長 副学校長 教務部長 教務主任 教務副主任 該当専任 局長・次長	
13	進級卒業教科会議	適宜	学年専任	講師 専任教員	
14	委 員 会	学生指導委員会	適宜	教務副主任	教務部長 教務主任 教務副主任 担当教職員 局長・次長
		卒後教育委員会	適宜	教務部長	教務部長 教務主任 教務副主任 担当教職員 局長・次長
		国家試験対策委員会	適宜	教務副主任	教務部長 教務主任 教務副主任 担当教職員 局長・次長
		II部研修委員会	適宜	教務主任	教務部長 教務主任 教務副主任 担当教職員

会議の目的

	会 議	内 容	
1	常務会 (拡大常務会)	滋慶学園グループの運営にかかわる諸事項を検討決定する。	
2	JESC 運営会議	滋慶学園グループの教育ノウハウの蓄積や教職員講師の質的向上を目的に滋慶教育科学研究所の運営にかかわる諸事項を検討決定する。	
3	全体会議	学校全体にかかわる諸事項の検討や決定、活動の報告を中心に全教職員が出席をする。また開始前には各種研修を実施。	
4	教務会議	教務にかかわる諸事項の検討と決定。	
5	主任会議	教務会議の議題の検討や調整。	
6	事務局会議	事務局にかかわる業務の検討や決定、また年間テーマを決め輪番制で研修を実施。	
7	広報会議	新大阪・東洋両校の広報にかかわる諸事項を検討、両校における学生募集の目標達成を目指す。	
8	就職会議	100%就職を達成するため、具体的諸事項を検討する。	
9	実習担当講師会議	4月に行われる前期会議は、前年度教育の反省や当該年度教育のねらいや目標について検討、9月後期会議は4月より実際に授業を進めた具体的諸事項について検討、改善を図る。	
10	業界懇談会	業界で求められる人材育成、情報収集、また本校の業界でのポジションの確認を目的とする。	
11	卒業判定会議	在学中に習得した技術と学力を総合的に判断、卒業を判定する。	
12	進級判定会議	当該学年で習得した技術と学力を総合的に判断、進級を判定する。	
13	進級卒業教科会議	卒業あるいは進級判定会議の前会議として、専任教員(担任)と各教科ごとの講師で、当該教科についての各学生の技術習得について検討する。	
14	委 員 会	学生指導委員会	教職員のみならず、講師、学生が意見を述べ、より高い学校文化の創造を目指す。
		卒業後教育委員会	卒業後の歯科技工士に必要な教育の提供を目指し具体的に諸事検討する。
		国家試験対策委員会	国家試験100%合格を達成するための具体的諸事項を検討・実施する。
		II部研修委員会	II部学生の臨床研修に関する、具体的な諸事項を検討する。